

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス



平成 28 (2016) 年 4 月 21 日

第 13 号

発行 (株)ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒 136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigy-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供しています。

中央教育審議会
教育課程部会

教科等別ワーキンググループの 検討状況をもとに 改訂の全体像について議論

中央教育審議会・教育課程部会（部会長：無藤隆・白梅学園大学教授）の第 8 期第 6 回の会合が、4 月 20 日（水）文部科学省にて開催された。

教育課程部会の開催は実に 8 か月ぶり。「教育課程企画特別部会」がまとめた『論点整理』が教育課程部会に報告された昨年 8 月 26 日以来の開催ということで、この日は多くの教育関係者や報道関係者が傍聴に訪れた。

冒頭、部会長より平成 28 年熊本地震の被災者の方々へのお見舞いの言葉があったのち、事務局から『論点整理』に基づいて学校段階等別・教科等別ワーキンググループ（右図参照）がこの 8 か月の間にどのような議論を行ってきたのかについて、説明が行われた。

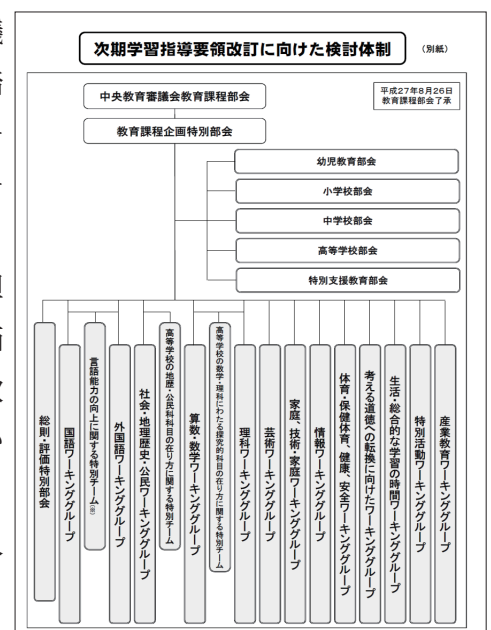
各ワーキンググループ等の会合は延べ 112 回開催、時間にして約 242 時間もの審議が行われてきたという。新学習指導要領の年度内告示に向けて審議はまだ途上であるが、文科省ではこのタイミング

で審議経過を整理し、改訂内容のラフデザインを全体で共有しようという目論見のようだ。

委員からは、「カリキュラム・マネジメントの力量を中核的な役割を果たす教員にどのように身に付けさせるかが最重要課題」「短時間モジュールの組み合わせで小学英語の授業時数を確保するというのは現実的ではあるが、15 分×3 で学ぶことと 1 単位時間で学ぶことは同じではないはず。その検証をしたうえで時数の取り扱いを示す必要がある」などの意見が出た。

また、選挙権年齢の引き下げへの対応に関連して、主権者教育の重要性、高等学校の新科目「公共」（仮称）等の履修学年や教員研修の課題を指摘する声も上がった。

この日の議論の内容も踏まえ、各ワーキンググループ等のとりまとめた任を担う総則・評価特別部会の次回会合において、中間まとめの審議に入る見込み。



学校と子ども・家庭・地域をつなぐ 講話あいさつ事典

〈発売中〉



【小学校編】 A5判・西村佐二、村越正則／編著

【中学校編】 A5判・西村佐二、壺内明／編著

各編定価（本体 3,600 円＋税） 各編送料 350 円

●管理職の先生、必携の書

聞き手の心に届く、わかりやすく適切な話は必須のスキル。現職校長らが書き下ろした例話は実に各編約 260 点！ 対象別・場面別・テーマ別の収録により検索性も抜群。歳時行事の由来や名言語録など使える話材も豊富。



- 4月** ◆21日 民放の日 ◆22日 アースデー ◆23日 子ども読書の日 ◆24日 植物学の日 ◆25日 壇ノ浦の戦い（寿永4年 [1185年]） ◆26日 よい風呂の日 ◆27日 哲学の日（ソクラテス忌） ◆28日 サンフランシスコ講和記念日 ◆29日 昭和の日 ◆30日 図書館記念日
- 5月** ◆1日 日本赤十字社創立記念/水俣病啓発の日 ◆2日 郵便貯金の日 ◆3日 憲法記念日 ◆4日 みどりの日 ◆5日 こどもの日/立夏（2016） ◆6日 迷路の日 ◆7日 博士の日/世界エイズ孤児デー ◆8日 世界赤十字デー（アンリ・デュナン生誕日） ◆9日 アイスcreamの日 ◆10日 愛鳥週間（～16日） ◆11日 長良川鶴飼い開き ◆12日 ナイチンゲールデー ◆13日 カクテルの日 ◆14日 温度計の日 ◆15日 沖縄本土復帰記念日

●●● 4/21～5/15 生まれの著名人〔敬称略〕 ○●●

- 4月** マックス・ヴェーバー（21日）、輪島功一（21日）、ウラジーミル・レーニン（22日）、新藤兼人（22日）、上村松園（23日）、森山直太朗（23日）、星野富弘〔詩人/画家〕（24日）、つかこうへい（24日）、三浦綾子（25日）、坂東玉三郎〔5代目〕（25日）、飯田蛇笏（26日）、加藤浩次（26日）、柴俊夫（27日）、宮根誠司（27日）、東郷青児（28日）、原ゆたか〔『かいつプロリ』作者〕（28日）、中原中也（29日）、岸田今日子（29日）、フランツ・レハール〔作曲家〕（30日）、常盤貴子（30日）

- 5月** 北杜夫（1日）、阿木耀子（1日）、樋口一葉（2日）、秋元康（2日）、マキャベリ〔イ・ルネサンス期の思想家〕（3日）、三宅裕司（3日）、森繁久彌（4日）、オードリー・ヘプバーン（4日）、マルクス（5日）、中島敦〔作家〕（5日）、フロイト（6日）、高橋尚子（6日）、萩本欽一（7日）、上川隆也（7日）、かたせ梨乃（8日）、さくらももこ（8日）、源頼朝〔1147〕（9日）、掛布雅之（9日）、高見映〔ノッポさん〕（10日）、草刈民代（10日）、サルバドール・ダリ（11日）、浜田雅功（11日）、武者小路実篤（12日）、奥田民生（12日）、マリア・テレジア（13日）、ステューヴィー・ワンダー（13日）、斎藤茂吉（14日）、ジョージ・ルーカス（14日）、瀬戸内寂聴（15日）、美輪明宏（15日）

●ご注文・お問い合わせ先

株式会社ぎょうせい
フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Web サイト <http://gyosei.jp>
e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者

月刊シリーズ 『新教育課程ライブラリ』 (全12巻)

Vol.4 新教育課程を生かす 管理職のリーダーシップ —次世代に求められる資質・能力の育成に向けて—

Vol.4
4月18日刊

巻定価 本体 1,350 円＋税
セット定価 本体 16,200 円＋税

セット特価 本体 14,400 円＋税（平成 28 年 6 月 30 日ご注文分まで特価適用）

■特集——新教育課程を生かす管理職のリーダーシップ

●解説

新教育課程に向けた管理職のリーダーシップ—教育資源・教育内容の構造化と共有化に向けて（天笠 茂）／「チーム学校」を踏まえたこれからの組織マネジメント—関係者総活躍学校に向けて（浅野良一）／「社会に開かれた教育課程」の開発とカリキュラム・マネジメント（吉富芳正）／新課程を見据えた学校改善のポイント（石野正彦）／小中一貫教育と管理職の経営課題（二宮肇美）／学校と地域の新たな関係をめぐる管理職の役割（佐藤晴雄）

●事例

校長として次期指導要領にどう備えるか
（安岡幸子〔高知県津野町立中央小学校長〕、
佐々木隆良〔福岡県朝倉市立甘木中学校長〕）

●提言

リーダーは「決断力」で課題解決を（角田 明）

■巻頭インタビュー

遠藤まめた氏

〔「やっぱ愛ダホ! idaho-net」呼びかけ人代表〕

■連載

新課程を生かすカリキュラム・マネジメント
（天笠 茂）

「育ち」と「学び」をつなげる授業

（奈須正裕）

実践！アクティブ・ラーニング研修

（村川雅弘）

ミドルリーダーが創るこれからの学校

（大脇康弘）

学校改革の新定石（西留安雄）

教育課程改訂の動向（文科省教育課程課）

新学習指導要領に向けた指導の充実

～音楽科～（文科省教科調査官）



このたびの平成 28 年熊本地震により被害に遭われた多くの皆様にご挨拶申し上げます。皆様の安全と、一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

（株式会社ぎょうせい）

「きょういくプレス」次号は、5月12日（木）発行の予定です。